

(特非) 新エネルギーをすすめる宝塚の会

「宝塚エネルギービジョン2050」実現にむけてエネルギー市民力の拡大活動

イベントの 延べ参加者数	500人
イベント参加者の 満足度	90%
活動の全体目標 に対する達成度	90%



ボランティアや行政スタッフとともに植栽

◆成果と工夫したポイント

●成果

活動を積極的に進める中で、本団体を応援するサポーターが10%程度増加した(115名から125名)。再生可能エネルギーと防災を結びつけることで、グッズの販売に結びついている(ランタン30個 充電器キット7台)。

●工夫

「省エネ」や「再生可能エネルギー」単体で伝えるのではなく、「防災」や「食」とつなげた活動をしている。

課題

「宝塚新エネルギービジョン2050」実現に向けて、行政発信だけではなく、市民から情報を発信することで認知度を高め、実現にむけての土台を形成する。

目標

イベントなどを通じて、エネルギービジョンを伝えるだけでなく、自分たちがどのようなアクションをすることで達成するのかを伝え、参加につなげる。特に市民発電所への出資をしていただくこと。

活動内容

五つの活動「広げる」「学ぶ」「協働する」「実践する」「支援する」を、それぞれが効率的に実施した。特に認知度を高めるために市内イベントへ積極的に参加し、多くの市民に活動を知ってもらうことができた。また、小学生へ向けて実施した「エコライフチャレンジ」は、冬休みの研究テーマとして各家庭で省エネを実施してもらえることができ、意識だけでなく、温暖化防止に対して実際の行動として役割を果たした。



エコライフチャレンジ

達成できなかったこと

「協働する」活動の実施が大学側のプログラム変更に伴い、打ち合わせスケジュールが活動後半となり、学生たちとの具体的な取組みまで進むことができなかった。

今後の展望

小学生向けのエコライフチャレンジプログラムを充実させていくことで、市内全校へ実施していく。